

令和7年度の学校給食費について（諮問事項）

1、諮問の主旨

信濃町の学校給食費は、令和4年度以降の主食価格の上昇額、消費者物価指数の動向を考慮し、令和5年度に一律30円増額の改定がされました。

主食及び牛乳の価格は年々上昇傾向にあります。副食材料の購入について、月2回の食材見積りの実施や地元生産者の御協力により、食材費の価格上昇をできる限り抑えて運営しています。しかし、近年の燃料費の高騰等や異常気象による野菜の高騰等の影響で食料品全体の価格上昇が続く、給食費を圧迫する要因のひとつとなっています。

安心安全でおいしい給食を安定的に供給するため、給食費改定年度以降の価格動向等を加味した結果をもとに給食費30円値上げの諮問しました。

2、給食費増額の要因

①主食（パン・麺）及び牛乳の価格上昇

お米は、地元生産者に御協力いただき令和6年産米についても市場価格より大変安く納品いただいておりますが、肥料等の価格高騰により来年度以降については米価格の上昇が見込まれます。また、パン及び牛乳の価格については、原料や燃料費の高騰等の理由により年々上昇傾向にあります。主食及び牛乳の価格上昇が続くことにより副食で使用する食材費を圧迫しています。

②副食費の価格上昇

副食に使用します野菜や肉、その他の物資に関しましても、物資を運搬するためのドライバー不足や昨今の物価高騰の影響により価格が上昇しております。野菜類につきましては、天候不良等の影響により、前月の見積額から急に価格が跳ね上がることもあり、価格が高すぎる場合は使用量を減らし、他の食材を使用するなど工夫をしていますが、代わりに使用する食材も高騰しています。食品全体については今後も更に値上がりすることが見込まれます。

③摂取基準への対応

給食においては学校給食法に定められている摂取基準を満たさなければいけません。物価高騰により給食で使用する食材が限られてしまうことで摂取基準を満たすことが困難になり、子どもたちへ十分な栄養を提供できません。

3、給食費増額による給食の改良点

①子どもたちの要望

現在も子どもたちの要望を取り入れるようにしていますが、使用する食材の単価によっては、要望に応えることが困難となっています。（加工パンやデザートなど）

増額により子どもたちの要望を更に取り入れることができ、より充実した学校給食を提供する事ができます。

②地場産品の使用

長野県は県産県消（地産地消）を推進しており、信濃町も道の駅しなのやファームかずと等から信濃町産の食材を納品いただいています。

しかし、業者見積をした際の単価により納品する食材が県外産となることもあります。食材によっては納品時に傷みがあり、除去の手間や除去をしたことにより規定量に達しないこともあります。

少し価格が高くても品質の良い食材や県内産の食材を使用し、子どもたちへ提供することにより、食育へつながると考えられます。

4、食材費の比較（令和5年度対比）

▼主食（米飯：週4回 パン：週1回 めん類：月1回程度）及び牛乳

（令和5年度との比較）

種類	R 5	R 6	差額	上昇率
米※1	30.24	34.21	+3.97	113.1
パン※2	64.46	68.29	+3.83	105.9
麺※3	79.83	82.23	+2.4	103.0
牛乳※4	66.87	70.43	+3.56	105.3

※1…1人当たり80gの税込価格（R 5は4月、R 6は11月時点の価格）

※2…1人当たり税込平均価格（6～11月平均）

※3…1人当たり税込価格（6～11月平均）

※4…1人1本あたり税込価格

▼副食について

肉や魚については、様々な情勢を反映し価格が上昇傾向にあります。前回の改訂年度以降、児童及び生徒へ提供する量が増えていることから全体的に価格も上がっています。

野菜については、例年、冬季になると価格が上昇傾向にあり、給食費を圧迫する要因の一つに挙げられます。夏の天候不順等による収穫量の減少などが価格上昇の原因の一つです。

また、長野県全体で地産地消（県産県消）を推進する考え方から、長野県産を基本とする食材の調達、できる限り信濃町産の食材を使用していきたいと考えていますが、業者見積による納品のため、県外産のものを使用している場合もあります。

●長野市消費者物価指数（食料）



長野市消費者物価指数（食料）月別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	平均
指数	119.2	119.2	118.7	118.8	120.7	121.0	122.8	123.9	120.5
前月比	—	0.0	－0.4	0.1	1.6	0.2	1.5	0.9	0.4※c

●食材単価／kg の前年度対比（6～11月平均比較）

主な食材のみ

種 類	令和5年度	令和6年度	差	値上がり率
大 根	124.1 円	142.0 円	＋17.9 円	114.4
白 菜	110.5 円	144.5 円	＋34 円	130.8
きゃべつ	115.3 円	133.7 円	＋18.4 円	116.0
きゅうり	431.5 円	615.6 円	＋184.1 円	142.7
にんじん	312.7 円	322.7 円	＋10 円	103.2
も や し	171.2 円	172.8 円	＋1.6 円	100.9
ピーマン	652.5 円	553.5 円	－99 円	84.8
玉 ね ぎ	159.9 円	198.6 円	＋38.7 円	124.2
ジャガイモ	200.3 円	283.9 円	＋83.6 円	141.7
豚ひき肉	1366.2 円	1414.8 円	＋48.6 円	103.6
豚 肩 肉	1039.9 円	1136.7 円	＋96.8 円	109.3
鶏もも肉	1583.0 円	1641.6 円	＋58.6 円	103.7

5、給食費改定の考え方

前述のとおり、近年の食材価格は上昇しており、今後も更なる上昇が予想されます。

これまで、主食・牛乳の増額分を低価格の食材の使用や献立の工夫などにより吸収してきましたが、近年の価格の上昇や学校給食摂取基準のエネルギー等の基準値を満たす必要があることから、給食費の改定はやむをえないと考えます。

令和5年からの消費者物価指数の上昇による今後の主食・牛乳・副食代の上昇を見込んだ単価による試算は次の通りになります。

また、米価に関して学校給食では農薬を減らして栽培している特別栽培米を使用しております。令和6年度は市場では米価格の高騰がありましたが、業者さんの御理解と御協力により現在の価格10kg、4,276円（税込）で納めていただくこととなりました。

しかし、昨今の燃料費や肥料の高騰の面から現在の価格を維持することは難しいと考えており、農家さん自体の経営にも影響することから、令和7年11月以降の価格上昇も加味し計算をしております。

また、物価高騰のため、食材費の月ごとの支払いを一部の業者さんに待っていただいているという状況も発生しております。

なお、令和7年11月以降の米の価格に関しましては、給食物資を多数取り扱っています学校給食会の価格10kg、4,352円（税込）を基準価格とし、11か月（7月8月は夏休みのため1か月として計算）で按分し上昇額を算出しています。

A：主食

①R5年度からのR6年度の各上昇額（P.7参照）と令和7年11月以降の米の上昇見込額※d

・米：5.02円 ・パン：3.83円 ・麺：2.40円

②1か月の給食を20食（米飯15＋パン4＋麺1）で試算

米(5.02円×15食)＋パン(3.83円×4食)＋麺(2.40円×1食)÷93.02円

93.02円 ÷ 20食 ÷ 4.65円（1食あたりの値上げ）

B：牛乳（P.7参照） 3.56円（1食あたりの値上げ）

C：副食

①R5年度の副食費に食材値上がり分（長野市消費者物価指数）11月まで（※a－※b）と月の平均上昇率（※c×12～3月の4か月分）を加え、乗じて計算
219.23円（※e）×10.8% ÷ 23.68円（1食あたりの値上げ）

A) 4.65円 + B) 3.56円 + C) 23.68円 = 31.89円

※d 令和7年度の米の上昇見込額

令和7年4月から10月分 34.21円×6/11か月÷18.68円

令和7年11月から令和8年3月分 37.60円×5/11か月÷17.09円

令和7年度の予定額 18.68＋17.09＝35.26円

35.26円－30.24円＝5.02円

※e：R 5 年度 1 食あたりの副食費

(現行給食費の平均価格から令和 5 年度の主食及び牛乳の金額を引いた金額)

現行給食費及び給食人数 (令和 6 年 4 月 1 日)

1 ～ 3 年生：300円・105人 4 ～ 6 年生：315円・130人 7 ～ 9 年生：345円・211人

平均価格 (300円×105人+315円×130人+345円×211人) ÷ (105人+130人+211人)

≒325.66円

主食・牛乳分) 主食39.56円+牛乳66.87円=106.43円

副 食 分) 325.66円-106.43円=219.23円

以上の試算から令和 7 年 4 月から**31.89円の値上げが必要**と考えます。保護者の負担にも十分配慮する必要があるため、今後も献立を工夫するなど努力を継続することで、次表のとおり改定していきたいと考えています。

また、今後物価の上昇が落ち着き、物価が下がる場合には、児童及び生徒へデザートや要望の献立を提供するなどして還元をしていきます。

改定額案 (1 食単価)

区分	R 2	R 5	R 7. 4 ～	増加額 (円)	増加率 (%)
1 ～ 3 年生	2 7 0	3 0 0	3 3 0	3 0	1 0
4 ～ 6 年生	2 8 5	3 1 5	3 4 5	3 0	9. 5
7 ～ 9 年生	3 1 5	3 4 5	3 7 5	3 0	8. 7

■学校給食費の検討資料

消費者物価指数年度平均（食料・長野市）と主食・牛乳の動向（税込価格）

	消費者物価指数(食料) (R2年度=100)	精米(10kg) (円)	パン (円) (4~12月平均)	牛乳 1本(円)
H27 年度	93.6	3,564	58.06	54.98
H28 年度	94.9	(3,564) 3,672	59.06	53.71
H29 年度	95.7	(3,672) 3,780	58.38	54.45
H30 年度	96.7	3,780	59.44	55.23
R1 年度	98.8	3,780	51.32	56.59
R2 年度	100.0	3,780	49.33	57.59
R3 年度	101.4	3,780	55.93	59.53
R4 年度	105.9	3,780	57.65	61.29
R5 年度	114.7	(3,780) 3,888	65.00	66.87
R6 年度	(123.9)	(3,888) 4,276.8	(68.07)	70.43

※平成28・29年度欄のカッコ内は10月までの単価 ※令和6年度欄のカッコ内は11月までの平均

※平成30年までのパン代は加工賃も含まれる

県平均の1食当りの給食費(長野県教育委員会調)

(単位:円)

	小 学 校			中 学 校	備考
	低 学 年	中 学 年	高 学 年		
平成27年度	270	273	277	319	
平成28年度	270	274	277	320	
平成29年度	271	274	278	321	
平成30年度	271	275	278	321	
令和元年度	275	278	281	325	
令和2年度	276	280	285	327	
令和3年度	276	279	282	325	
令和4年度	278	281	284	328	
令和5年度	285	288	292	337	

信濃町の給食費の推移

(単位：円)

	小学校低学年	小学校高学年	中学校
昭和63年～平成2年度	1 8 5	2 0 0	2 2 5
平成3年～平成8年度	2 0 5	2 2 0	2 4 5
平成9年～平成10年度	2 2 0	2 3 5	2 6 5
平成11年～平成18年度	2 3 5	2 5 0	2 8 0
平成19年～平成25年度	2 4 5	2 6 0	2 9 0
平成26年～令和元年度	2 5 5	2 7 0	3 0 0
令和2年～令和4年度	2 7 0	2 8 5	3 1 5
令和5年～	3 0 0	3 1 5	3 4 5

食数の推移 (単位：人)

4月1日時点

年度	人数	人数の増減 (前年度対比)
平成27年度	6 9 4	△ 1 1
平成28年度	6 6 0	△ 3 4
平成29年度	6 3 6	△ 2 4
平成30年度	6 1 0	△ 2 6
令和元年度	5 6 6	△ 4 4
令和2年度	5 3 8	△ 2 8
令和3年度	5 3 2	△ 6
令和4年度	4 9 4	△ 3 8
令和5年度	4 6 9	△ 2 5
令和6年度	4 4 6	△ 2 3
令和7年度 (予 定)	4 1 5	△ 3 1

※ 給食費に含まれていない経費（全額町負担）令和6年度当初予算60,238千円

- ・調理員の人件費
- ・配送等に係る車両の経費
- ・電気・ガス・水道などの光熱水費、ボイラーの燃料費
- ・施設、機械器具の維持管理費
- ・電気設備改修工事費

ほか